

# 小倉薬剤師会 7月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。  
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますようお願い申し上げます。

謹白

**研修認定単位取得に薬剤師免許番号が必要となりました。研修カードをご持参ください。  
研修カードのない方は必ず薬剤師免許番号の写しをご持参ください。  
研修単位の受け取り忘れや紛失時の再発行は行いませんのでご注意ください。**

記

【日時】 2019年 7月23日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室  
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【情報提供】 19:00～19:15

『カペシタビン錠 300mg 「ヤクルト」』の特徴について

株式会社ヤクルト本社

- 【P S】
1. ヒューマニズム (倫理) : ①-2、②-5～9
  2. 医薬品の適正使用 (安全性・経済性) : ①-29・30、②-104～108、③-3～6・26
  3. 地域住民の健康増進 (薬物乱用防止、セルフメディケーション) : ①-13～15

---

【特別講演】 19:15～20:15

座長 学術委員会 入江 利行

『がん薬物療法における薬剤師の役割とは？

～オンコロジストとして薬剤師に望むこと～』

演者 久留米大学病院 がん集学治療センター 講師 三輪 啓介 先生

---

<講演会要旨>

国民の3人に1人が「がん」で死亡する時代となり、今後も高齢化に伴い、その数は増加していくものと考えられています。最早、すべての医療者にとって、「がん治療」に無関心ではいられなくなってきているのではないかと考えます。「がん治療」の一部である「がん薬物療法」の分野において、近年、がん細胞の浸潤・増殖・転移などに関する分子レベルのメカニズムの解明が進み、多くの分子標的治療薬が開発され、さらには免疫チェックポイント阻害薬の登場など、がん薬物療法の分野は目覚ましい進歩を遂げています。従って、がん薬物療法において、薬剤を調剤する薬剤師の責任は重く、薬剤の適正使用はもちろんのこと、数多い副作用の知識まで要求されていると思われまます。また、それは病院薬剤師のみならず、経口フッ化ピリミジンや分子標的薬などを調剤する保険薬局においても同じです。がん治療において、「チーム医療」が求められている中、薬剤師はそのチームの中においても極めて重要な役割を担っていると考えられます。本講演においては、がん薬物療法行っている立場から、経口フッ化ピリミジンのエビデンス(消化器がん)を中心に、薬剤師に対する要望を率直に述べたいと思います。

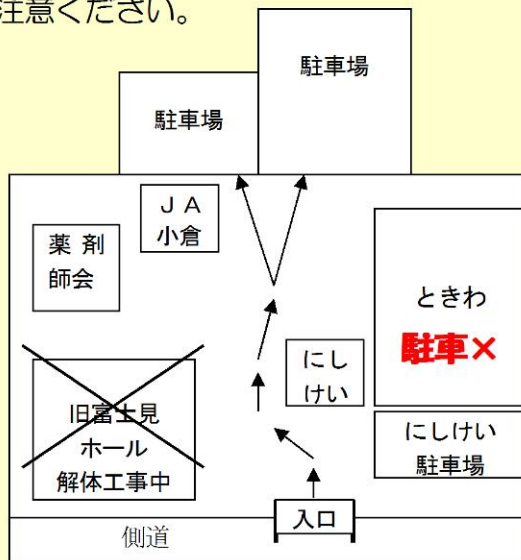
共催：(一社)小倉薬剤師会  
株式会社ヤクルト本社

## 会員 各位

研修会等、富士見ホールの駐車場を利用しておりましたが、現在「旧富士見ホール」解体工事に伴い、駐車場の確保ができません。

研修会へご参加いただく際は、公共交通機関をご利用の上ご来場下さい。

なお、旧富士見ホール右側に未舗装の駐車場がありますが、こちらは「ときわスイミングスクール」の駐車場となっておりますので、駐車はできませんのでご注意ください。



拡大



## 子育て中の薬剤師の先生方へ

会員の先生方からご要望があり、11月の学術研修会より、**小さなお子様同伴でも研修会にご参加いただけるように**、研修中は小倉薬剤師会館の**2階会議室も常時開放いたします。**

今まで、お子様が小さいがために研修会の参加を断念されていた方は、**これを機に奮って研修会にご参加ください。**なお、以下の点においてご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 2階会議室はサテライト会場のため、TVモニター越しでの聴講となります。研修会終了時にご質問等がある場合は、3階の研修室に移っていただかないとお受けできませんので、ご了承ください。
- 研修中は、小さなお子様がケガなどされないよう、保護者の責任のもと安全面へのご配慮をお願いいたします。